

7番 下山 千津子

1. 男女共同参画事業推進策の充実した展開を

平成27年3月に「町政とまちづくりに女性の視点をより活かすためには」の質問をした。

本町は「第五次開成町総合計画」及び「第3次かわいせい男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けた様々な施策の推進を図られてると、大変に期待をしていたが、男女共同参画プランは策定後、4年が経過し、世の中は著しく変化をしており、本町においては、町内の女性の力が活かされないままの施策が続いているように感じる。

例えば、本町は人口が増え、子どもの数も増えているが、子ども会を解散する自治会や婦人会・老人クラブ会員の減少等の課題もある。

また、自治会の役員のなり手不足の課題もあり、今後はこれまで以上に地域（自治会）の課題解決に対して、女性目線で探求し、多様な視点や感性を活かす環境作りが益々重要になっている。

女性の持つ潜在的な力で町の未来を切り開きイメージアップに繋がる施策を展開すべきと考え、次の事項を問う。

① 各種審議会への女性委員の登用率の現状は。

② 女性を登用するための策は。